



Japan Sesame Association

講習年月日 2026 年 7 月 9 日

氏名(所属先) (株)寺屋 湯布院 ごま福堂

松本 翔太郎

今年も湯布院へお越しいただきありがとうございます。
毎年のことながら、今年度も湯布院 ごま福堂にて講習会
を開催いただけることを、うれしく思います。今年は新
たに2名、胡麻を搗き始めるメンバーを迎えたという
ところで、スタッフ一同ご指導いただけることを楽しみに
しておりました。なかでも古家さんにとっては、初め
てのごま搗きを深堀さんから直接教えていただいた
ということ、最高のタイミングであったと思います。

自身にとってもごまを搗く心構えや指導の仕方を再確
認する良い機会となりました。スタッフに自身と同じように
搗いていただいても、なかなか満足いく胡麻に仕上
げることができず、それぞれに合った搗き方があるという
ことを改めて感じました。

来年も湯布院 ごま福堂にて講習会を開催いただけるように、
より一層湯布院のごまを盛り上げていきます。

*講習会に参加して（講習会の感想や思いを記載してください。）



Japan Sesame Association

講習年月日 2026年 7月 10日

氏名(所属先) 松本 新 (ごま塾 湯布院店)

この度はご多忙の中、貴重なお話を聞かせていただいたことを
心から感謝しております。

これまでの自分はごまを撞く際に形式的な作法に拘われすぎて
いたように感じます。これは自分の背景にある神道への興味が
少なからず影響したのかもしれません。ごまが持つ神秘の力、

また向き合うべき作法が神道の儀式に通じる様に思っていました
ごまを撞くことを始める前には松本店長の姿を見ながら非常に
重労働である様に思っていました。それがいざ、自分で体験してみた
時に何か、まるで上から助けてもらっているような不思議な感覚を
覚えたことを記憶しています。もしかしたらそれはごまの持つ力、
そして店長の指導などの見えないうちに助けられていたのかも
しれません。

このような経緯で、いつの間にかごまを撞くのはこうしなくては
いけないと言葉や形ばかりにこだわっていた様に思います。

今回、深堀さんのお話を伺ってハッと思いました。

*講習会に参加して (講習会の感想や思いを記載してください。)



Japan Sesame Association

講習年月日 2026年 7月 10日

氏名(所属先)

根本 静香 (三好福堂書店学院)

一番大切なのは こういなくてはいけないという様な作業的な

ことではなく 気持ちの問題であることを改めて認識しました。

「言葉は何でも いいんですよ」と 深堀さんは話されました。

謙虚、感謝、そして平和を 二手を置くことで体現する。

煩惱だらけの自分には なかなかの 心構えではありますが、

偶然にもこのような仕事に就けたことを 喜びに感じながら

お客様と接してこうという思いでいます。

次にお会いする時に より深化した自分でいられるように

今後も励んでいきます。気にかけていただいたこと、により

ありがとうございます。

*講習会に参加して (講習会の感想や思いを記載してください。)



Japan Sesame Association

講習年月日 2026 年 7 月 10 日

氏名(所属先) 由布院地区 古家百花

今回の講習会では、商品に対する気持ちの持ちようやごまの基本的な知識を身に付けました。今までは感謝の言葉は基本的にはお客様だけに伝えていて、正直商品に対しては無の感情で接していたと感じます。自分が販売する商品について理解することはもちろんですが、感謝の気持ちを忘れず丁寧に扱い、純粋な心で接することでより美味しさを提供することが出来るのだと学びました。ご丁寧に指導して下さい大変感謝しております。また、講習中私の心が純粋で綺麗だと仰ってくださりありがとうございました。あまり実感はなかったのですが、深堀さんの伝えてくださったことを記憶に留め、今後も前向きに仕事を行って参ります。本日はお忙しい中貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

*講習会に参加して（講習会の感想や思いを記載してください。）